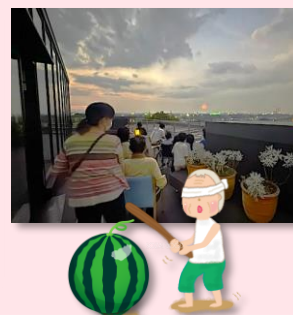


夏のイベントは大盛況！ ～情緒あふれるひとときとなりました～

■ 緩和ケア病棟

8月1日（土）八王子花火大会の日、緩和ケア病棟では、ご家族と一緒に夜空に上がる美しい花火を鑑賞しました。また病棟内で「日本画展」も同時開催。訪れたご家族の皆さんも熱心に見入っていました。
8月12日（水）の夏祭りは、ウクレレの弾き語りとスイカ割り、そして最後はマツケンサンバ隊の誘導で全員で踊って締めくくりました。熱気あふれるイベントとなりました。



■ 通所リハビリ

通所リハビリの夏祭りのイベントは4回開催。金魚釣りや射的、ボウリングなどのゲーム、そしてイベント最終日には、マツケンサンバ隊の飛び入り参加で、お祭り気分を楽しんでいただきました。



■ 医療療養・回復期リハ病棟

8月7日（金）医療療養病棟で開催した夏祭りカラオケ大会では、自前の衣装で熱唱する患者さん、ベッド上で歌う患者さん、みんなで手を取り合ったり、大合唱して涙を流したりと、患者さん同士も仲良くなり、楽しく盛り上がりしました。
8月20日（木）回復期リハ病棟の夏祭りは、ご家族も参加し、ヨーヨー釣りや魚釣りゲームなどで楽しみました。ゲームは最高のリハビリの機会になりました。



みなみ野病院フェスティバルを開催します！

患者さん・ご家族、また地域の皆さんとの交流を深めるため、今年も「みなみ野病院フェスティバル」を開催いたします！当日は、ご家族で楽しめる催しものや、健康に役立つ体験コーナーなど、ワクワクする企画をたくさんご用意しております。どなたでもご自由にご参加いただけますので、ぜひご家族やご近所の方とお気軽にお立ち寄りください。

皆さんのご来場を、スタッフ一同心よりお待ちしております！

■ 日時：令和8年10月10日（土）10時～15時

■ 場所：みなみ野病院1階エントランス・リハビリ室

※詳細は、ホームページ「お知らせ」をご覧ください



eisei 医療法人社団永生会
みなみ野病院

〒192-0916 東京都八王子市みなみ野5-30-3

TEL 042-632-8118(代)

TEL 042-632-8154(入院相談)

<https://www.eisei.or.jp/minamino/>



● みなみ野病院は、4つの機能で地域の皆さまに信頼していただける病院づくりを目指しています。今後ともよろしくお願いいたします。



～「医療・介護を通じた 街づくり・人づくり・思い出づくり」を理念とし、
地域の方々を支えていく～ それが私たちの願いです

eisei みなみ野病院広報誌
2026年 9月 発行
Vol 31
Take Free

はーとふる みなみ野

〈表紙について〉

8月、緩和ケア病棟にて、ある患者さんが描き溜めてこられた日本画の展覧会を行いました。病棟内には「岩絵の具」ならではの深みのある色彩と、立体的な質感が美しい作品の数々が並び、患者さんの大切な思い出が詰まった、心温まる空間となりました。表紙の絵は、その素晴らしい作品の一部を拡大したものです。

院内ギャラリー

6月から8月の季節のディスプレイ（患者さんの作品）です。

医療療養病棟



緩和ケア病棟



表紙の絵の全体像



医療療養病棟



回復期リハ病棟



通所リハビリ



医療療養病棟



回復期リハ病棟



緩和ケア病棟



コンテンツ

■ 院内ギャラリー（6月から8月の季節のディスプレイ）

■ みなみ野病院を知っていただくための特別企画「緩和ケア病棟での入院生活」

■ 夏のイベント大盛況！～情緒あふれるひとときとなりました～

■ みなみ野フェスティバルを開催します！



みなみ野病院を知っていただくための特別企画

みなみ野病院は、回復期リハビリテーション、医療療養、緩和ケア、通所リハビリテーションの「4つの機能」で地域の皆さんに信頼していただける病院づくりを目指しています。この紙面では、患者さんが入院生活の中でどのような環境で過ごし、各病棟でどのような支援を受けられているかをご紹介します。今回は「緩和ケア病棟」です。

「緩和ケア病棟」で患者さんはどう過ごされているの？

当病棟は、がんなどの重い病による心身のつらさを和らげ、専門的なケアを提供する場所です。私たちは、患者さん一人ひとりの「その人らしさ」を何よりも大切に、ご家族とかげがえのない時間を穏やかに過ごしていただけるよう、日々環境を整え、サポートに努めています。ここでの過ごし方は、おおよそのスケジュールの中で自由に生活感にあふれています。

1. 「医療的ケア」と「精神的・心理的サポート」で穏やかな療養生活

病気の進行に伴う痛みや息苦しさなどの体の辛さはもちろんのこと、不安や眠れないといった心の辛さにも寄り添い、患者さんが穏やかに過ごせるための医療を提供しています。病棟には、緩和医療指導医資格を持つ医師や緩和ケア認定看護師、緩和薬物療法認定薬剤師が専従しています。多職種チームで24時間体制で患者さんをサポートしています。



カンファレンス・IC

必要なタイミングで説明や相談を重ねながら、患者さんとご家族の思いをしっかりと伺います。伺った内容はスタッフで共有し、より良い支援につなげています。

2. 全身状態を多職種で管理 ～きめ細やかなケア～

「食べる」を支援・ご希望に合わせて調整

食事は管理栄養士と相談し、ご希望に合わせて調整したり、食形態についても、状態に合わせて工夫しています。キッチンコーナーで、ご家族が患者さんの好物を調理し、「我が家の味」を食べてもらうこともできます。



病状に対するきめ細やかなケア

医師の回診以外に、月2回褥瘡回診を行っています。医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士など多職種で、予防や改善を目指し活動しています。また、むくみなどの辛さなどに対しても、一人ひとりに合ったケアをおこなっています。

こころのケア

緩和ケア認定看護師やスピリチュアルケア師が、苦悩や悲嘆を抱える方に寄り添い、こころのケアを提供しています。



患者さんの一日

基本的な入院中の過ごし方

☀️ 起床：6時～

🍲 朝食：8時～

🕒 回診：10時～

🛀 入浴：10時～15時

🍲 昼食：12時～

👩 看護師ラウンド：13時～

🍲 夕食：18時～

🌙 消灯：21時



浴室は、大きな窓から外を眺めながら入浴できます。入浴を行わない日には清拭などを体調に合わせておこないます。

3. リハビリテーションで身体機能の維持

病棟専従の理学療法士・作業療法士が、患者さんの体調やご希望に応じてリハビリテーションをおこなっています。**体力や筋力の維持のための軽運動、負担のない※ポジショニングや作業活動**を行い、患者さんが穏やかに笑顔で生活できるよう支援しています。

※ 褥瘡や拘縮、呼吸困難などのリスクを減らすため、クッションなどを用いて身体各部の位置を整え安定した姿勢を作ること



4. 楽しいイベントや各種ボランティアの支援で心豊かに

夏祭りやクリスマス会など**季節のイベント**や、琴やサックスの**コンサート**などは、度々開催し、患者さんが楽しみにしてくれています。また、ボランティアによる**アロママッサージ**や**フラワーアレンジメント**は、患者さんの気持ちをほっと和ませてくれる時間になっています。



5. ご家族やお友達との面会

面会は、基本的には10時～20時で、その間制限はありません。ご家族がペットを連れてきて会うこともできます。また夜間帯はご希望により、家族室をご使用いただけます。



6. 売店でお買い物

週1回、売店が病棟の談話室にきてくれます。お菓子やパン、アイス、雑誌など、様々な商品を用意してくれています。欲しい商品がある方には、可能ながぎり準備してもらっています。



7. 理美容で入院中も自分らしく

月1回訪問理美容師が、カット、カラーやパーマを実施してくれます。理美容は大きな心のケアの効果を持っています。



8. ご家族のケア「家族会」の開催

当院緩和ケア病棟で大切な方を亡くされた方が、**同じ経験をされた方と悲しみや気持ちを分かち合い、支え合えることができる場**を提供できればと、この度第1回「家族会」を9月12日（土）に開催いたします。

この会を通してご家族とつながることは、ご家族だけでなく私たちスタッフにとっても大きな励みとなります。今後も定期的開催し、誠心誠意取り組んでまいります。



9. 患者さんそれぞれの「過ごし方」を全員で支援

「孫とテラスでワインを楽しめた」「痛みが和らぎ、趣味を再開できた」「病棟でシャンソンを披露し、コンサートの夢を叶えた」——これらはすべて、私たちが患者さんやご家族からいただいた大切なエピソードです。**緩和ケア病棟では、ただ痛みを和らげるだけでなく、患者さん一人ひとりが「自分らしく生きる」ための思いを何よりも大切にしています。**これからもその思いを少しでも叶えられるよう、スタッフ全員で考え、寄り添っていく所存です。

